

# 日本選挙学会 2003年度第3回理事会議事録

日 時：平成15年12月13日（土） 午後2時～  
場 所：慶應義塾大学三田キャンパス 研究棟7F 745号室

議 題：  
（2003年度第2回議事録、並びに入会申込書の回覧）

## 1. 各委員会の活動状況について（各委員長）

### 企画委員会（配布資料参照）

- ・河野勝2004年度研究会担当企画委員長から、2004年度研究会企画案について報告があった。2004年度研究会では、共通論題を含め12のセッションが設けられる（配布資料中の網掛け部分は、司会者・討論者・報告者・報告タイトル等に関して現在調整中の箇所である）。報告者の中には、非会員のまま報告する予定の者が2名含まれる（橋本敬市氏とジョージ・ツェベリス氏）。比較部会 の報告者（3）は韓国の方になるが、詳細は未定である。
- ・報告用論文は英文でも受理することを確認した。
- ・ポスターセッションの報告希望者は現段階で9名であり、会場のキャパシティに余裕のあることから、ることから、ニュースレター内で報告者を追加募集することを了承した。
- ・報告論文の送付先については、企画委員長と中央大学の開催担当者が協議の上決定することとなった。また、報告論文提出に対する最終的な催促は、企画委員長が行うことが確認された。

### 年報編集委員会（配布資料参照）

- ・池田謙一第19号担当編集委員長より、『選挙研究』第19号及び『選挙学会紀要』第1号・第2号について報告があった（配布資料参照）。『選挙学会紀要』第1号の編集は完了、2003年内に会員に発送される運びである。第2号は依頼論文3本、投稿4本について編集（または査読）作業中である。
- ・同委員長より、『選挙学会紀要』の価格・英文タイトル・校正作業の外部委託に関する事項について審議願いたい旨諮られ、審議の結果、価格は税込み1500円（1000部作成）、英文タイトルは Review of Electoral Studies となり、また校正作業の外部委託を検討することが了承された。

### 文献委員会

- ・岩崎正洋2003年度文献委員長より、2003年度の会員の業績申告について、2004年1月末日を締め切りとする旨、報告があった。
- ・同委員長より、2003年度文献目録の形態の変更が提起された。審議の結果、目録の分量・コスト面・保存の利便性等の観点から、『選挙学会紀要』第2号の巻末、及び日本選挙学会のホームページに掲載することが決定した。

### 選挙管理委員会

- ・和田寛伸選挙管理委員長より、理事選挙について報告があった。投票は2003年11月10日に締め切られ、有効投票数（有効送付数）は165通（不明2通）、有効票は1258票、投票率は51.9%であった（前回は61%）。同点最下位が2名

- おり、選挙管理委員会において委員長が抽選し、当選者を決定した。
- ・投票の数え方は、投票用紙が封入状態である時は「通」、投票用紙が切り離される前の状態では「枚」、切り離された後は「票」とすることが確認された。

## 2. 理事選挙の結果について

- ・公選理事の当選者について、河野武司事務局長より報告があった（配布資料参照）。

## 3. 入会申込者・退会希望者の件（配布資料参照）

### 入会申込みについて

- ・6名の申し込みがあった。理事会は以下の6名の入会を承認した。  
相内真子（北海道浅井学園大学）、小野耕二（名古屋大学）、片木淳（早稲田大学大学院）、加藤淳子（東京大学大学院）、岸本一男（筑波大学）、前田貢一（筑波大学）

### 退会について

- ・理事会は以下の1名の自己都合による退会、及び1名の逝去による退会を承認した。  
内川正夫（逝去）、大坪力基（自己都合）

### 現在会員数について

- ・上記の移動によって、現在の会員数は546名（うち法人会員1社、休会3名含む）となった。

## 4. 日本学術会議関係

### 代表派遣について

- ・河野武司事務局長より、小林良彰理事長によるAPSA派遣（シカゴ）、また小林理事長より日本学術会議の今後などについて報告があった。

## 5. その他

### 『ニューズレター』第26号について

河野事務局長より、発送は12月19日であること、公選理事選挙の結果等について掲載することが報告された。

### 会費の納入状況について（配布資料参照）

河野事務局長より、2003年9月26日現在の会費納入率は63.5%（前年59.5%）であることが報告された。

### 学会専用のメールアドレスの取得について

編集小委員会からの提案を受け、事務局が検討することが確認された。

### その他

- ・小林良彰理事長より、学会規程・規約の書式・文言等の整備をはじめとする作業について、法律を専門とする研究者の小委員会を設置することが提案された。この小委員会の委員長に指名された和田寛伸選挙管理委員長が、会員内で人選を行い、作業部会を立ち上げることとなった。
- ・荒木義修理事より、会員に関する慶弔費について質問があった。これについては河野事務局長から、事前に事務局で状況を把握できた場合には対応することがあるとの説明があった。
- ・次回理事会 2004年3月6日（土） 14:00～16:00

以上

---

（出席者）小林理事長、油川、荒木、池田、岩崎、川戸、川人、河村、神江、田中、谷、中野、藤井、和田の各理事、平野、森脇の両監事、芹澤学術会議会員、河野勝会員、及び河野事務局長、今井、鬼塚、河崎の各幹事。